

若狭の原発動かすな！ 福島原発事故から13年 福島に思いはせ みんなでデモしよう！

バイバイ原発 3.9 きょうと



プログラム 2024年3月9日(土)

- 集会 開場13:00 オープニング企画 京都うたごえ協議会
開会13:30
※手話通訳を準備しています。受付までお申し出ください。
- 開会 司会 下村 委津子 (しもむら しづこ) (フリーランスアナウンサー、環境市民)
朴 偕 泰 (ばく へて) (人民新聞)
- 主催者あいさつ 森垣 郁江 (もりがき いくえ) (つながる、みなまとわたし)
- 政党代表紹介、メッセージ紹介
- ゲスト講演
「福島原発事故を追いかけて13年」 おしどりマコ・ケン
- スピーチ
 - 1 原発賠償訴訟京都原告団
 - 2 バイバイ原発きょうと大学生有志
 - 3 「能登大地震と関西電力」
渡辺 輝人 (わたなべ てるひと) (京都地裁大飯原発差止訴訟弁護団事務局長)
- 集会決議・特別決議 高尾 美香 (たかお みか) (コープ自然派京都)
- コール練習・デモ諸注意 藤井 悦子 (ふじい えつこ) (アジェンダ・プロジェクト)
- 閉会
- デモ行進 出発15:30 祇園石段下—四条通り—四条河原町—河原町通り—市役所

主催： バイバイ原発きょうと実行委員会

<連絡先> Tel 075-354-6637 e-mail:go@byebyenuclearkyoto.com ホームページ <http://byebyenuclearkyoto.com>

<バイバイ原発3・9きょうと 決議（案）>

福島原発事故から13年。私たちは福島原発事故の反省と教訓をもとに、
脱原発社会を一日も早く実現するため、以下の決議をいたします。

- 一、福島原発事故によって奪われた暮らし・健康・環境・地域社会を国と東京電力に償わせよう。
- 一、これ以上、海を汚してはならない。放射能汚染水の海洋放出をやめさせよう。
- 一、地震列島日本、若狭の老朽原発をはじめ、すべての原発の稼働・再稼働をやめさせよう。
- 一、使用済み核燃料の中間貯蔵によって問題を先送りするのではなく、
核燃サイクルをはじめ原子力政策の失敗を認めさせよう。
- 一、省エネと再生可能エネルギーで気候危機を打開しよう。一日も早く脱原発社会を実現しよう。



2024年3月9日 バイバイ原発3・9きょうと 参加者一同

.....

<バイバイ原発3・9きょうと 特別決議（案）>

元日の大地震は深刻な被害をもたらしました。能登半島沿岸では想定された96kmをはるかに超える150kmもの活断層が連続して動きました。多くの建物が倒壊し、土砂崩れや地割れ、海岸線の隆起などで多くのインフラが破壊されました。

石川県の志賀原発や新潟県の柏崎刈羽原発は運転を停止していましたが、もしも稼働中であつたら、もしも敷地内で隆起が起きていたら、そして、もしも住民が珠洲市の原発建設を阻止していなかったら、取り返しのつかない事故になっていたかもしれません。

震災にともなって原発事故が起きても、住民が避難することも、屋内退避を行うことも、海や空から救助を行うことすら不可能であることも、私たちは改めて目の当たりにしました。

それにもかかわらず、岸田首相は「再稼働の方針は変わらない」と発言し、原発の稼働を継続しようとしています。原子力規制委員会は、屋内退避のみ見直すとして、避難計画に実効性がないという事実と向き合おうとしていません。

関西電力は、能登半島に近い若狭湾近辺の活断層への影響もあり得るというのに、40年超えの老朽原発を含む7基もの原発を稼働し続けています。そして、あろうことか、核燃料プールからあふれつつある使用済み核燃料の中間貯蔵を検討することで、更なる原発推進に突き進もうとしています。

このたびの地震は、安全規制の前提になっている想定が、いとも簡単にくつがえるという厳しい現実を突きつけました。日本は、世界で発生するマグニチュード6以上の地震の約2割が集中する「地震列島」であり、これ以上原発を運転することなど容認できません。

私たちは、今回被災した原発、関電の原発をはじめ、すべての原発を直ちに停止し、廃炉にすることを要求します。

2024年3月9日 バイバイ原発3・9きょうと 参加者一同

<バイバイ原発3・9きょうと 呼びかけ人>

アイリーン・美緒子・スミス(グリーン・アクション)/飯田哲夫(京都府保険医協会)/
石田紀郎(市民環境研究所)/市川章人(非核の政府を求める京都の会)/うのさえこ(3・11ゆいネット京田辺)/
大植登(原発ゼロプログラムの会)/梶川憲(京都総評)/河本一成(反核京都医師の会)/
木原壯林(若狭の原発を考える会)/佐伯昌和(有機農家)/榊原義道(北山の自然と文化をまもる会)/
坂本真有美(個人)/佐々木佳嗣(京都・水と緑をまもる連絡会)/澤田季江(新日本婦人の会京都府本部)/
下村委津子(フリーランスアナウンサー)/シャウベッカー・デドレフ(口丹自然の暮らし協議会)/
新開純也(反戦・反貧困・反差別共同行動in京都)/杵本育生(環境市民)/鈴木栄(安全農産供給センター)/
宗川吉汪(原発ゼロをめざす京都ネットワーク)/園良太(ゴウエスト カムウエスト)/
田浦健朗(気候ネットワーク)/高尾美香(コープ自然派京都)/竹中寛治(日本科学者会議京都支部)/
槌田劭(使い捨て時代を考える会)/中川洋寿(京都民医連)/中山良子(非常勤講師)/
朴勝俊(関西学院大学教授)/朴偕泰(人民新聞)/萩原ゆきみ(原発賠償京都訴訟原告)/
原 強(京都循環経済研究所)/藤井悦子(アジェンダ・プロジェクト)/松原竜生(関西よつば連絡会)/
溝内啓介(コンシューマーズ京都)/森垣郁江(つながる、みなまたとわたし)/守田敏也(フリーライター)/
山内小夜子(真宗大谷派僧侶/解放運動推進本部)/山崎典子(使い捨て時代を考える会)/
山田晴美(使い捨て時代を考える会)/山路容子(生活クラブ京都エル・コープ)/
山本幸市郎(京都反原発めだかの学校)/吉田明生(京都脱原発原告団)/吉永剛志(個人)

<賛同個人/団体 2024年3月5日現在 50音順>

◆賛同個人 179人(公表可151人 公表不可19人 不明9人)

アイリーン・美緒子・スミス/秋好素子/浅井秀明/浅野佐里/有田佳子/飯田孝一/飯田哲夫/池村奈津子/
井坂洋子/石田紀郎/石浜昌宏/伊勢俊彦/市川章人/伊藤美子/井上和子/今村陽子/魚山栄子/宇田裕子/
宇田紘実/うのさえこ/宇山やよい/浦田千恵/榎田基明/榎本てい子/榎本品彦/大植登/大浦秀樹/大島堅一/
大西和子/大西美由紀/大屋峻/奥西一夫/梶川憲/加藤利三/川北浩史/河本真智子/神田千秋/菊藤真弥/
北川フラム/北川政幸/北村守/木藤田恒夫/木下俊朗/木原和子/木原健一/木原壯林/黒河待子/黒田充恵/
河野正子/小坂勝也/小杉美鈴/後藤由美子/佐伯昌和/坂口大介/坂本真有美/佐々木佳継/佐藤明子/
里中悦子/汐崎啓子/篠原孝/島寄明子/下村委津子/シャウベッカー・デドレフ/新開純也/杉林聰美/杵本育生/
杉本直美/鈴木栄/鈴木富美/須田稔/角浦節子/宗川吉汪/田浦健朗/高尾美香/高木順一/高取利喜恵/
高橋佐知子/高橋冬彦/高橋牧子/瀧川恵子/滝川正/竹内正三/竹中寛治/竹原八郎/塚本美津子/辻田丞治/
辻田浩子/槌田劭/出口治男/富田房江/富田道男/内藤洋次郎/中井豊/中川洋寿/中沢浩二/中島晃/仲地たき/
長屋純/長屋真理子/中山良子/西川和男/西川隆善/西田秀隆/萩原節子/萩原ゆきみ/朴勝俊/朴偕泰/
はしかわあつこ/橋本昭/長谷川薫/畑中美代子/服部章代/濱見秀行/原強/東正一郎/久永雅敏/久永叔/
平岡正己/福島敦子/藤井悦子/藤岡惇/藤田徳子/布施かよ子/堀江みゆき/堀川朗子/松久玲子/松本忠雄/
溝内啓介/向井哲夫/武藤邦代/村岡夏子/村上聖子/村山起久子/森垣郁江/守田敏也/矢板進/安井洌/
山内小夜子/山崎典子/山路容子/山田耕作/山田晴美/山本昭郎/山本朝子/山本幸市郎/山本隆子/山本晴代/
吉田真理子/吉田明生/吉永剛志/鷺尾圭司

◆賛同団体 73団体(公表可72団体 公表不可1団体)

|女性会議・京都/アジェンダ・プロジェクト京都/安全農産供給センター/太秦九条の会/
えこ・ろじっくぱんど/核のごみキャンペーン関西/上賀茂憲法九条の会/関西よつ葉連絡会/
気候ネットワーク/京田辺・綴喜原発ゼロプログラムの会/京都うたごえ協議会/京都府AALA連帯委員会/
京都協立病院/京都高齢者生活協同組合くらしコープ/京都市職員労働組合/京都市職労病院支部/
京都自治労連/京都循環経済研究所/京都第一法律事務所/京都脱原発原告団/京都地方労働組合総評議会/
京都母親大会連絡会/京都反原発めだかの学校/京都府保険医協会/京都保健会/京都・水と緑をまもる連絡会/
京都民主医療機関連合会/グリーン・アクション/原発ゼロをめざす左京の会/
原発賠償訴訟・京都原告団を支援する会/生活協同組合コープ自然派/3.11ゆいネット京田辺/
市民環境研究所/自由法曹団京都支部/城陽生活と健康を守る会/新社会党京都府本部/
新日本婦人の会京都府本部/新日本婦人の会右京支部/新日本婦人の会宇治支部/新日本婦人の会亀岡支部/
新日本婦人の会北支部/新日本婦人の会木津川支部/新日本婦人の会左京支部/新日本婦人の会城陽支部/
新日本婦人の会中京支部/新日本婦人の会南丹支部/新日本婦人の会西京支部/新日本婦人の会東山支部/
新日本婦人の会伏見支部/新日本婦人の会南支部/新日本婦人の会向日支部/新日本婦人の会山科支部/
新日本婦人の会八幡支部/生活クラブ京都エルコープ/全京都建築労働組合/
全京都生活と健康を守る会連合会/ZENKO京都/全日本建設交連一般労働組合京都府本部/
使い捨て時代を考える会/日本科学者会議京都支部/日本共産党京都府委員会/パタゴニア京都/
反核京都医師の会/はんげんぱつ新聞/反戦・反貧困・反差別共同行動in京都/非核の政府を求める京都の会/
POW CREW 関西/ふえみん婦人民主クラブ京都洛友支部/ふしみ「原発0」パレードの会/
米軍Xバンドリーダー基地反対・京都連絡会/桃山ピースアクション/若狭の原発を考える会

<各地の集会からのメッセージ（順不同）>

□■「3・11メモリアルアクション 原発のない新しい福井へ」

第13回さよなら原発福井県集会2024 in ふくい 参加者一同

電力供給地元の福井県の住民は、フクシマ原発災害以降、毎年3月に「さよなら原発福井県集会」を開催してきました。今年は、3月9日（土）に敦賀市きらめきみなと館イベントホールで「第13回集会」を開催します。「集会」は、12時30分から文化企画、13時からトーク、15時から市民行進と国道沿いでスタンディングを行い、16時に終了します。

去る1月1日に起こった能登半島地震の被災状況から、原発で重大事故が起これば住民は避難できないことが明らかになりました。これを踏まえて、私たちは集会開催のスローガンとして、「岸田政権の『原発依存社会への暴走』を許すな！」「福島事故を繰り返すな！」「福井県知事は原発再稼働の容認の撤回を！関電は約束を守れ！」「住民の安全を第一に避難防災対策を！」「原発ゼロ、再エネで持続可能な地域経済を！」「原発汚染水の海洋放出を許すな！」などを掲げております。特別講演者として、島崎邦彦さん（東京大学名誉教授、元原子力規制委員会委員長代理・日本地震学会会長）を招いて「大地震が起こる日本列島の怖い原発」と題した講演をしていただきます。他に、リレートークを行い、「集会」アピールを発表し、福島からのビデオメッセージ上映やうたごえ・タップダンス演奏を行います。多くの脱原発資料やメッセージのパネル展示も行います。

「バイバイ原発3・9きょうと」にご参加のみなさまと連帯して、原発のない社会をつくるための住民運動を拡げ深める決意をお伝えし、連帯のご挨拶とします。

□■ 原発ゼロ京都北部府民集会実行委員会

バイバイ原発3・9きょうとにご参加の皆さまに、原発ゼロ京都北部府民集会実行委員会より連帯のメッセージを送ります。京都府北部は、運転開始から49年が経過した高浜原発から60km圏内に約24万6千人の府民が暮らしています。若狭湾沿岸には高浜・大飯・美浜地域に現在7基の原発が稼働しており、合わせると15基の原子炉があります。また、関西電力は、高浜原発1号機の運転をさらに10年延長し、60年間以上運転しようとしています。

能登半島地震では、「想定外」の断層が連動して動き、志賀原発は「想定内」の揺れで外部電源を受けられなくなりました。また、モニタリングもできず、家屋は倒壊、道路は寸断され、安全に避難することもできない状況でした。

「想定」を超えた地震や津波などの自然災害が次々に起こり、大きな災害を生んでいます。その中に、原発の大きな事故が含まれる可能性は否定できません。

福井県内の原発には、行き場のない多くの使用済み核燃料が保管されています。関西電力は、これを陸上で保管する計画を明らかにしました。行先のないままに長期間にわたり原発構内に貯蔵される可能性があります。原発は、処分方法も決まっていない使用済み核燃料を日々生みだしています。

原発は、一日も早く止めて廃炉にすることが必要です。

私たちは、京都府北部地域で安全に、安心して住み続けたいという思いから、原発推進のエネルギー政策の転換を求める声を大きくし、原発ゼロの社会の実現めざして、原発ゼロ京都北部府民集会を舞鶴市で開催します。

原発ゼロの声を一緒に上げ続けましょう。

原発は即刻廃炉に、自然再生可能エネルギーへの転換をすすめましょう

私たち、原発ゼロ京都北部府民集会実行委員会は、バイバイ原発3・9きょうとにお集まりの皆さまとご一緒に、原発のない日本にするために共に力を尽くします。共に奮闘しましょう。

□■「原発のない社会へ 2024 びわこ集会」参加者一同

琵琶湖を有する滋賀県民は、毎年3月に「原発のない社会へ びわこ集会」を開催してきました。今年も3月9日に大津市膳所城跡公園と大津市生涯学習センターで「原発のない社会へ 2024びわこ集会」を開催します。

今年は、津軽三味線奏者の蝦名宇摩さんをお招きし、井戸謙一弁護士作成の基調報告を紹介するとともに、米原市長の平尾道雄さんも連帯あいさつをされます。

今年のスローガンは「美浜・高浜の老朽原発は、ただちに廃炉せよ！」と「福島第1原発の汚染水を海に流すな！」です。

琵琶湖を飲料水源とする京都集会にご参加のみなさまと連帯して、びわこ集会に集う私たちは、13年前の福島原発事故を忘れることなく、原発のない社会をつくりあげる決意を新たにしております。

原発ゼロをめざしてともにがんばりましょう。

□■ 原発をなくし、自然エネルギーを推進する、大阪連絡会 運営委員会一同

「バイバイ原発3・9きょうと」にご参加の皆様 大阪より連帯のメッセージを送ります。

岸田内閣は、福島原発事故の経験を踏まえることなく崩壊的な原発の積極的活用を閣議決定し、続いて史上最悪と言われている211通常国会では戦後かつてない非常識な軍拡予算と並行して、実質的に老朽原発の無原則な延命をするGX電源法を通過させました。地元の懸念や反対を無視して放射能汚染水のALPS処理水を海洋放出し、これまでの原発事故被害者や被災地域の努力を水の泡にする人権を踏みつける政策が続いています。

1月1日に発生した能登半島地震は、志賀原発の直下で発生し、原発が計画されていた珠洲市で大きな被害が出るなど、原発立地は例外なく常に原発事故の危機にさらされていることを浮き彫りにしました。また被災による交通手段の破綻は、原子力防災計画（避難計画）が絵に描いた餅となる可能性を現実化しました。日本のどこにも原発を安全に運転し住民の人権を保障できる場所はありません。

原発ゼロの会・大阪はみなさんと同日、2024年3月9日（土）「なくせ原発おおさか集会2024」を開催します。福島原発事故を風化させない、学び続け連帯を続ける取り組み、と同時に「地球気候危機」が火急の課題となる中、改めてエネルギー問題に関心を持ち「原発でいいのか？」と問う人々も、迎え入れる集会でもありたい、と考えます。

□■ドイツ・脱原発のネッカーヴェストハイムサポートグループ・Jörg(ヨルグ) Schmid(シュミト)

私たちは「バイバイ原発3・9きょうと」の皆さんへ心からご挨拶をいたします。

私たちは東京電力福島第1原子力発電所事故から13年目にあたる日、稼働を終了したネッカーヴェストハイム原発の門前で、ドイツ、ヨーロッパそして世界中の原発の完全な撤退のためにデモを行います。

2023年4月15日以降、ネッカーヴェストハイムの最後まで残っていた原子炉が稼働停止されています。そのすぐあとに解体が始まりました。

私たちはこの地域の核事故の大惨事による危険性がなくなって、とてもうれしく思っています。しかし、日本など、世界の他の地域はいまも原発トラブルによって脅かされ続けています。私たちは国際的脱原発運動の一部としてみなさまとも連帯し続けています。

私たちの抗議に反して、ヨーロッパの原発産業の拡大プロジェクトは気候に優しいと言って推奨され補助されています。それを支えているのはヨーロッパの核兵器保有国です。核エネルギーの平和利用は他に比べてコストもはるかにかかり、危険もはるかに多すぎます。ドイツにも、脱原発方針を撤回するために右翼政党側の強い圧力がかかっています。

それに、ドイツ・リンゲン市で行われている核燃料棒生産を中止させるために私たちは戦っているのです。この街に、フランスとロシアの原子力企業が協力して、さらにロシア内の原子炉のための核燃料棒を作る計画があります。

元日の能登半島地震は、新たに日本という地震多発地に起こりうる大きな危険性を証明しました。

我々が心配して問いかけるのは北陸電力志賀原子力発電所が稼働中であつたならば、あらたなフクシマになっていたのではないかということです。

2023年8月24日、福島に――IAEAの援護で――汚染された処理水の海洋投棄が始まりました。この汚染水には、海へ流す時に健康に危険な放射性物質が多数含まれています（ストロンチウム90など）。それによって、これから数十年にわたって海の生態系に被害が続くこととなります。私たちはそれに対して太平洋にある国々、日本の当該地域の漁業者や国際環境保護運動などと共に抗議しています。

- ・世界中の原発即時停止！
- ・エネルギー転換を今こそ継続せよ！
- ・気候保護は脱化石エネルギーと脱核エネルギーによって初めて可能！

.....

<バイバイ原発3・11きょうとへのメッセージ（順不同）>

◆清水寺貫主 森 清範 さん

東京電力福島第一原発にたまる処理水の海洋放出が昨夏から始まりました。東日本大震災による原発事故から間もなく13年、廃炉作業が遅々と進められ、処理水の貯蔵タンクは1000基を超え、放出は2051年ごろまで続きます。先行きの見えない核燃料の取り出しなど多くの難題も抱えています。私たちはこの教訓から目をそらしてはいけません。仏である命を守るために、原発のない安心な社会を目指し運動している貴集会の成功を心より祈念します。

◆本山修験宗管長 宮城 泰年 さん

「もっともっと、欲しいほしい、便利に、楽に楽に」

意識するかしらないかは別として、私たちは常にそうした欲望の中に生きている。ゼロにしようとは言わない。然し振り返ってみる必要はある。無意識のうちに死の灰製造と利権の世界に加担している自分を顧みて、声を上げることが大事だと思う。「地球を汚染する原発はいらない」

◆立命館大学名誉教授 安齋 育郎 さん

私は、いま、福島の「ヒロシマ・ナガサキ・ビキニ・フクシマ伝言館」の館長として、核も原発もない社会にむけて世界に発信し続けています。私は、13年前の福島原発事故で故郷の過去・現在・未来を奪われ、国家や電力企業の傲岸さへの憤りを新たにしました。そして今年元日、能登半島地震では敷地の下に断層が走る志賀原発の危険性が本当に心配になりました。地震列島日本、「原発ノー！」の声を国政に届けましょう。

◆滋賀医科大学名誉教授 西山 勝夫 さん

自公政権は、3・11を、被害の克服もできず、忘れさせようとし、「喉元過ぎれば」とたかをくくってきた。熊本地震や能登半島地震と続発してもだ。四半世紀にわたって「戦争と医学」を探求するなかで、学んだ故ワイツゼッカー元ドイツ大統領の残した名言「過去に目を閉ざす者は、現在にも盲目になる」や中国の故事「前事不忘、後事之師」がある。これらを教訓に、脱原発の速やかな実現のために政治を変えていかなければならない。

◆脱原発政権の実現を訴える科学者 富田 道男 さん

元日の「能登地震」による志賀原発の被害は、運転停止中により外部電源用変圧器の破損や油漏れなどで済みました。運転中だとしたら、最悪の場合福島事故の二の舞です。ゾーッとしました。地震大国日本には原発を設置してはなりません。現在、関電・四国・九州電力の原子炉11基が運転中です。直ちに全原発を廃止に処すべきです。皆さん、今後行われる国・地方の議会選挙では、脱原発を表明する人・政党に支持の輪を広げて、原発を無くすために力を合わせましょう。

◆龍谷大学名誉教授、生産管理論 由井 浩 さん

周知のようにドイツでは「脱原発」を昨年4月に達成しました。これには福島第一原発事故が当時の首相に強く影響しました。その福島では今も多くの困難が続いています。汚染水の放出も大問題ですね。能登半島では2007年から昨年5月まで強い地震が何度か起きていて今回の大地震となり、多くの方々が被災されました。そして志賀原発でトラブルが相次ぎ大きい課題を残しています。原発ゼロ運動をさらに続けましょう。

◆京都法律事務所 弁護士 小笠原 伸児 さん

能登半島地震は、想定を超える地震が広範囲にわたる地盤の隆起・沈降、大規模な地割れや地盤の変異を生じさせ、重大な原発事故を起こさせる現実的な危険性を想起させた。また、必要情報を提供できなくさせ、避難道路だけでなく空港や港湾の損傷により住民の避難を不可能とさせたことから、原発事故避難計画の非現実性を露呈させた。政治が、住民のいのちや財産、ふるさとを本気で守る立場に立つのなら、原発ゼロ日本をめざすべきだ。

◆反戦老人クラブ・京都 山田 耕作 さん

本当に今年こそ原発にさよならをしましょう。能登地震、ウクライナにおける戦争は原発の現実的危険性を明確に示しました。いつ大事故になるかわかりません。人類の未来のために原発を永久に廃棄し、太陽光、風力などの自然エネルギーで平和で安全で豊かな社会を作りましょう。

◆日本科学者会議京都支部 前田 耕治 さん

震度7の揺れだけでなく土地の隆起が相次いだ能登半島地震では原発の重大被災に紙一重でした。住宅倒壊、道路網壊滅の状況で原発事故が起きたら避難不可能です。地震多発国日本に原発は要らないの声をあげましょう。

◆男声合唱団すばる 宇民 正 さん

金権漢（キンケンカン）は権力の台座にしがみつく／金権漢は裏金と利権を喰らうて大きくなった／金権漢は原発を大事に育てる／原発は嘘と秘密でアンダーコントロール／国民の生命と国の将来をや？／金権漢はそんな言葉知らへん／金権漢の支配を排し平和の鐘を鳴らそう／バイバイ金権漢キンコンカン／バイバイ原発キンコンカン

◆左京千人委員会委員 島津 瑠美 さん

死者32万3千人 被害総額1410兆円 20メートル級の津波。これは南海トラフ巨大地震で想定される日本土木学会の予想である。産業の大動脈のど真ん中に位置する浜岡原発は、まさに巨大地震の震源地に建っている。南海トラフ巨大地震は、来るか？ 来ないか？ ではなく、いつ来るか？ なのだ。世界一危険な原発と言われる。現在休止はしているが、政府は再稼働を目論んでいる。燃料棒は常に冷却の必要があり、福島原発と同様の被災があれば、日本滅亡の危険があるのだ。原発と戦争は同根！ 権力者は常に安全な所に身を置いて命令を下す。政権のプロパガンダ、権力者の悪質なフェイクの荒波に、玩具のように翻弄され続ける人々。いつまで権力者の嘘に騙されるのだろうか？ 声を上げよう！ 廃墟と化した日本列島で、こうなることはわかっていたよね…と呻かなくて済むように…

◆京都大学教授 深畑 幸俊 さん

能登半島地震により志賀原発で基準地震動を超える揺れが観測された。基準地震動を超えた場合、原発の安全性は保証されない。基準地震動は1万年に1回以下の極めて強い揺れに対応しているとされるが、それを超えるのは実に5回目である。住民の反対運動がなければ珠洲市にも原発が建設され、そこではさらに強い揺れに襲われていた。経済性を優先し自然災害の脅威から目をそらす態度をいつまで続けるのか、もう一度、甚大な被害が生じるまで続けるつもりなのだろうか？

◆京都大学法学研究科教授 高山 佳奈子 さん

国際関係と安全保障の観点から、大地震の起こる日本でこの位置にこれだけの原発があることは恐怖でしかない。諸外国の立場からすれば、自爆しようとしているテロリストにしか見えないのではないか。このような「核威嚇」から平和が得られるはずはない。国際社会は、東日本大震災や北陸地震の被災者に同情はするが、原発事故への不安を募らせるばかりだ。諸外国の信頼を得るために、この不安を取り除くことが平和への道である。

◆京都大学教育学研究科教授 駒込 武 さん

今年1月1日の能登半島での大地震は、この地震列島で原発を動かすことが無謀であることを改めて示しました。京都の市民連合ユナイトきょうととして、全ての原発の即時停止、そして廃炉の決断を呼びかけるオンライン署名を始めました。ぜひご賛同ください。日本列島の半分以上がゴーストタウンとなるような事故が起きる前に…。
(署名はこちらから https://www.change.org/no_nuclear) →



<議員・政党からのメッセージ（議員名、政党名 各50音順）>

●参議院議員 井上 さとし さん（日本共産党）

岸田政権は、原発回帰にかじを切って新たな原発建設を掲げるとともに、漁業者などとの約束を破って福島第1原発の汚染水の海洋放出を強行しました。さらに、アメリカなどととも世界原発を2050年までに3倍化すると宣言しました。再稼働の加速も企てています。福島原発事故は収束が見通せず、多くの人が今も苦しんでいます。能登半島地震では志賀原発からの避難ルートは寸断、家屋被害で屋内退避もできず実効性のない避難計画の問題が明らかとなったにもかかわらず、問答無用で原発を推進するなどもってのほかです。原発は即時中止廃炉を求めます。

原発3倍化宣言の背景には、原発市場を取り戻したい日米欧の原発業界の要求があり、日本の原発業界も、原発輸出でもうけようと企んでいます。原発を増やせば、使用済み核燃料など処分困難な「核のゴミ」が増え、将来世代に大きなつげを残します。

原発でなく省エネと再エネ優先へと転換させましょう。原発ゼロの日本をめざし、原発に固執する岸田政権を退陣に追い込み、自民党政治を終わらせましょう。

●参議院議員 倉林 明子 さん（日本共産党）

集会のご盛会を心からお喜び申し上げます。

東日本大震災・福島原発事故からまもなく13年。今年の年初に発生した能登半島地震では、日本に安全な原発などないことが改めて明らかになりました。ただちに志賀原発は廃炉へ、すべての原発をなくすために力を合わせましょう。

日本共産党は、いまこそ、エネルギー政策を転換し、原発ゼロの日本へ一緒に政治を変えようと呼びかけています。

バイバイ原発の声を大きく広げましょう。

●衆議院議員 こくた 恵二 さん（日本共産党国会対策委員長）

今年もみなさんとお会いできること、とても楽しみです。

能登地震によって志賀原発では、1号機、2号機とも設計上の想定を超えた揺れが観測され、深刻なトラブルが続発しました。この地域で最大15万人を想定した避難計画も、「基本は自家用車や支援者の車で」との計画が「机上の空論」であることがわが党の笠井亮議員の質問で浮き彫りとなりました。

こうしたもと、原発再稼働、老朽原発の運転期間延長と新規原発建設など断じて許されません。いまこそ、原発ゼロの日本へ力を合わせましょう。

●参議院議員 福山 哲郎 さん（立憲民主党）

多くの方々のご参集の中、「バイバイ原発3・9きょうと」が開催されますことをお慶び申し上げます。
官邸において、東日本大震災・原発事故と向き合った政治家の一人として、一度暴れだしたら、人間の手では如何ともしようがない原発を、これ以上日本で稼働することはやめるべきであると考えています。

今般の能登半島地震では、志賀原発を巡る情報が二転三転したうえに、避難ルートが寸断され、他の原発における情報共有体制や避難計画の実効性を改めて確認しなければならない状況となっています。

COP28でも、2030年までに世界の再生可能エネルギーを現在の3倍に、エネルギー効率を2倍にすることが合意されました。立憲民主党は、「地域ごとの特性を生かした再生可能エネルギーを基本とする分散型エネルギーを構築し、あらゆる政策資源を投入して、原子力エネルギーに依存しない原発ゼロ社会を一日も早く実現」することを目指しています。震災、原発事故の記憶を胸に刻み、今こそ、1日も早く原発のない社会という未来を選択するときです。

本日の集会在原発のない社会に向けた大きな一歩となりますことを心よりご期待申し上げ、メッセージといたします。

◆社会民主党京都府連合代表 中村 在男 さん

「バイバイ原発3・9きょうと」の開催にあたり、社会民主党京都府連合は、心からの連帯の挨拶を送ります。
社会民主党は地球温暖化対策と原発推進をセットにすることを許さず、「脱炭素は脱原発とセット」との考え方のもとに、2018年に野党4党で「原発ゼロ基本法案」を国会に提出し、「2030年に原発ゼロ」を国政選挙の公約として掲げています。

2030年で原発ゼロ、天然ガス火力発電と自然エネルギーで50%ずつ、2050年には再生可能エネルギー100%が社民党の掲げる電源の数値目標です。

「地震多発国日本」には廃炉決定済も含め60基の原発が存在し、現時点で12基が稼働中です。能登半島地震による北陸電力志賀原発の事故にみられるように、日本の原発は活断層のリスクを抱えており、すべての原発の再稼働を許さないとともに、稼働停止、廃炉へのプロセスを進めなければなりません。

社会民主党は立憲野党と協力して「原発ゼロ基本法」の成立をめざします。

本日の集会在、脱原発法成立への一歩となることを願ってやみません。

◆新社会党京都府本部委員長 森山 康弘 さん

2024年元旦に能登半島にM7.6の巨大地震が襲いました。この能登半島には「志賀原発」があり、時間が経つにつれてその被害が明るみになりました。北陸電力志賀原発1号機と2号機は外部から電気を受ける変圧機2台の配管が壊れて、絶縁や冷却のための油が漏れ、一部の系統が使えなくなりました。また、志賀原発周辺の空間放射線量を測定するモニタリングポストが、15カ所で測定不能になりました。これでは原発事故時に住民の原発避難の判断すらできません。

志賀原発の周辺では半径30キロ以内、およそ6万世帯、15万人近くが住んでおり、石川県と9つの市と町が避難計画を策定し、国道など11本の道路を主なルートに設定しています。志賀町は2017年11月に「原子力災害避難計画」を作成していますが、今回の能登半島地震の実像から絵にかいた餅であり、無力だと明らかになりました。

政府は原発推進に舵を切っていますが、原子力は人間の手で制御、処理できるものではなく、原発は全廃すべきです。代替エネルギーについては京丹後の風力発電のように人体、住民に害を与えるのではなく人体、住民に害を与えないものを使用すべきです。

◆日本共産党京都府委員会委員長 渡辺 和俊 さん / 常任委員 堀川 あきこ さん

日本共産党は、最悪の環境破壊をもたらす原発への依存を断ち切り、脱原発を一刻も早く実現させる立場を堅持しています。能登半島地震により、志賀原発の「想定外」のトラブルが続出し、避難計画の破綻も明らかになりました。原発は廃炉以外にありませんが、同時に最悪の事態を想定した避難計画の見直しは必要です。

GX関連法の成立、COP28での原発3倍化合意など、原発推進の動きが深刻化するも、脱原発の世論と同時に、エネルギー政策の抜本的な転換を求める運動が気候危機対策と一体で追求される必要があると考えています。

原発はCO2削減に有効でないどころか、再エネ普及の障壁になっていることは科学的事実です。日本では、原発の電力が送電網や出力の面で優先され、再エネによる電力が何度も捨てられています。同時に自民党の原発推進の根底には、原子力関連企業からの多額の献金があることも指摘しなければなりません。

日本には、電力需要のおよそ7倍の再エネの潜在量があることは政府も認めています。再生可能エネルギーへの抜本的な転換が今すぐ必要です。日本共産党は再エネと省エネを並行して、エネルギー政策の転換をはかる「気候危機を打開する2030戦略」を提案しています。

2018年には、わが党と立憲民主党、社民党など野党4党が共同で「原発ゼロ基本法案」を提出しましたが、この到達点に立ち返り、世論と運動を広げていくために奮闘するものです。

◆れいわ新選組衆議院京都府第1区総支部長 安持 なるみ さん

れいわ新選組の政策の柱はご存じの様に消費税廃止、積極財政への転換です。財政出動して推進すべき政策としてグリーン・ニューディール（GND）、気候変動対策と経済格差の是正を目的とした総合的な政策群、を掲げています。温室効果ガス排出0は国際合意となっていますが、それを達成するための原発推進などはもつての他です。再生可能エネルギーへの積極投資が必要ですが、それだけに限られる政策ではありません。

能登半島地震は、かつて原発が計画されたところが最も被害甚大な所と重なりました。もし、計画が実現されていたらと思うと恐ろしいものがあります。さらに、既存の志賀原発については休止中であつたことが幸いでした。反対運動があつたからこそこの大きな成果です。活断層の有無が問われていた志賀原発も議論の余地はなくなりました。一刻も早く廃炉決定をさせなければなりません。

GNDは災害に強く、かつゼロ・エミッション住宅、交通網の構築なども政策の中に含まれています。れいわ新選組としては脱原発を一刻も早く実現するとともに、GNDの視点で積極財政を唯一掲げる国政政党として活動していくことを誓い、連帯のご挨拶といたします。

<デモ・コール案>

★★★ 穏やかバージョン

原発なくそう 廃炉に賛成
再稼働やめよう 脱原発賛成
原発とめよう 未来を守ろう
地震は誰にも とめられない
原発だったら とめられる
大飯原発 いますぐ廃炉
高浜原発 いますぐ廃炉

美浜原発 いますぐ廃炉
老朽原発 いますぐ廃炉
核のごみは 被ばくの元
もうこれ以上 増やすのやめよう

関西電力 原発やめよう
関西電力 汚職をやめよう
関西電力 癒着をやめよう
すべての原発 今すぐ廃炉
福島事故は ひとつと違う
原発ゼロ法 みんなでつくる
大事故起こす前に 原発止めよう
被ばくはイヤだ 京都を守ろう
琵琶湖を守ろう
子どもを守ろう
京都を守ろう

原発でつくった 電気は買いたくない
再エネでつくった 電気を買うよ
原発ほんとに コストが高い
原発やめて 電気代下げよう
原発もはや 採算とれない
お金儲けよりも 命が大事
ワイロよりハイロ
京都の電気は 京都で作ろう
京都市議会は 脱原発です
満場一致で 脱原発です

京都にもたくさん 避難者いてね
関東からも 避難者いてね
みんな 悲しんでいるんだよ
なかったことには ならないよ
福島事故は 収束してない
放射能は 消えていない
放射能は 続いている

汚染は福島に とどまらない
東京も関東も 放射能汚染
健康被害も たくさん出てる
国は その事 隠さないで
被災者・避難者 苦しめないで
もうこれ以上 苦しめないで

みんなで知ろう ホントのことを
みんなで聞こう ホントの話
自分で決めよう 自分の未来
みんなで話そう 子どもの未来
みんなで話そう 孫の幸せ
みんなの思い ちゃんと伝えよう
みんなの人権 何より大事
みんなで語ろう 輪になって語ろう
美味しい空気を いっぱい吸いたい
どろんこまみれで 走り回りたい

★★★ 元気 or サウンドバージョン

原発反対 原発いらない
原発危ない 再稼働中止
被曝させるな 被曝したくない

地震大国 原発危ない
地震大国 原発できない
原子力は再エネじゃない
原子力は再エネじゃない

No Nukes No Nukes
再エネ増やせ 原子力なくせ

汚染水流すな 海を汚すな
放出中止 今すぐ中止
世界中を被曝させるな
処理水じゃない 汚染水
処理水じゃない 嘘つくな

原発のない明日を作ろう
安心できる明日を作ろう
原発じゃないエネルギーにしよう
安心できるエネルギーにしよう

原発中止 原発いらない
再稼働やめろ 今すぐ廃炉

<デモの並び方> ※セーフティゾーンは写真を撮られず、コールをしないゾーンです。

